

## 令和4年度 第4回 富塚西小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時： 令和5年2月10日（金） 14時30分から16時45分まで
- 2 開催場所： 富塚西小学校 会議室
- 3 出席委員： 安間忠雄、中村文彦、天野民雄、西村寿洋、高橋睦美、神村浩子、  
岩淵千江、吉川恵美
- 4 欠席委員： 井口隆夫、大石一磨
- 5 オブザーバー： 浜松市議会議員 関イチロー、富塚協働センター 野嶋京登
- 6 学 校： 松山 徹（校長）、鈴木千晴（教頭）、阿部恭大（教務主任）、  
坂口千佳（CSディレクター）

7 傍聴者： なし

### 8 協議事項

『今年度の振り返りと来年度の学校運営』

- (1) 学校関係者評価
- (2) 令和5年度学校運営基本方針(案)
- (3) いじめ防止等のための基本方針(案)
- (4) 学校運営協議会の自己評価 来年度の目標及び追加評価項目

9 会議録作成者 CSディレクター 坂口千佳

### 10 会議記録

司会の岩淵委員から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

続いて、議長の選出が行われた。

司会から会長を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

### ・協議事項

テーマ 『今年度の振り返りと来年度の学校運営』

#### (1) 学校関係者評価

議長の指示により、阿部教務主任より、資料に基づき令和4年度の学校評価の結果と考察、改善策についての説明があり、委員から以下の発言があった。

・「困ったことがあったら学校の先生に相談している」の児童の評価が若干低いことについて  
→先生と接する機会を多く作り、子供たちが気軽に相談しやすい雰囲気を作っていたきたい。（西村委員）

→放課後児童会に入っている不登校がちな子がいた。宿題をする時に隣に寄り添い励ましながら行ったら、宿題を出せるようになり学校へも行けるようになった。自分から悩みを言い出せない子供には、傍で少しの声掛けで子供たちは状況を変えられる事もあると思った。（岩淵委員）

→中学年ぐらいまでは、担任の先生の他にもクラスに入ってサポートしてくださる方がいてくれると良いのではないか。（吉川委員）

➡松山校長…相談事については、誰にでも伝えられるものではない。家庭内の悩みについては、特に誰にも相談しにくい場合が多い。しかし以前、担任にもスクールカウンセラーにも言えなかった悩みを、支援員に話すことが出来、話したことで気

持ちが楽になったケースがあった。学校には様々な立場の方が入っている。子供たちが、色々な方と触れ合い、悩みを相談できる心を許せる方を見つけられると良いのだが。

・風の子大会がなくなったことについて

→風の子大会は、努力の末、達成感が得られる良い活動だと感じていた。なくなったのなら、代わりにどのような取り組みを行っているのか知りたい。(神村委員)

→風の子大会のような、乗り越えなければいけない活動というものは子供たちに必要ではないかと感じる。(高橋委員)

➡松山校長…風の子大会については、コロナがまだ収束していないこと、汗をかいて冷やすことからの風邪、普段入らないところを走るので怪我の恐れなどの心配があった。そこで体育の活動の内容を職員で見直し、大幅に入れ替えた。今まで持久走のため、本来やらなければいけない技能運動が出来なかった。そこでタグラグビーやティーボールなどの、チームで作戦を立てて行う活動を行ったところ、子供たちは達成感が得られることができ、職員の間で良い感触があり、このまま続けることになった。

・「地域とともに」は先生方が100%出来たと回答したことに対し、児童の方は77%の子は出来たが、23%の子が出来なかったと回答している事が気になる。(天野委員)

➡松山校長…富西小は、学校運営協議会やPTAに様々なお力をいただいていると教員は感じているので、高い数字になった。児童は、このような活動について、当たり前的事と感じている為、低い数字になったのではと推測する。

## (2) 令和5年度学校運営基本方針(案)

議長の指示により、松山校長より、資料に基づき令和5年度富塚西小学校グランドデザインの説明、また、キャリア教育として、4年生が2分の1成人式に代わり、社会人の2名の方の講演を聞いた後、『二十歳の自分への手紙』を書く活動を行った旨の説明があった。委員からは以下の発言があった。

・キャリアパスポートの活動を知らなかった。保護者もキャリアパスポートを見る事によって、子供の成長を感じられ、その時子供が感じている事を知ることが出来る。何かしら親の気付きもあると思う。(吉川委員)

・教職員の欄の「自律性」について、先生方、個人個人が自分のクラスの授業の計画を立てて、目標達成のため行動するという説明を聞き、子供たちを教育しながら自分自身も成長していこうとする姿が素晴らしいと感じた。(安間会長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

## (3) いじめ防止等のための基本方針(案)

議長の指示により、阿部教務主任より、資料「浜松市立富塚西小学校いじめ防止基本方針」を新たに作成したこと、及び内容の説明があり、委員からは以下の発言があった。

・このような取り組みをしている事が分かると、子供の事で気がついたことがあれば、相談しやすい。(吉川委員)

・子供たちに「心のアンケート」を書かせる際、時間がかかる子は、悩みがあると他の子に

分かってしまう。アンケートの回答時間を長めにとり、全員同時に回収するなどの配慮をしていただきたい。さらに、子供の思いを学校が吸い上げられる方法を考えていきたい。(神村委員)

#### (4) 学校運営協議会の自己評価 来年度の目標及び追加評価項目

議長の指示で、鈴木教頭より、資料に基づき令和4年度学校運営協議会自己評価の説明があった。また、①来年度の目標、②追加評価項目について、委員から以下の発言があった。

##### ① 来年度の目標について

- ・富西の特色、強味といえば、ボランティア活動だと感じる。地域との連携、ボランティア活動のさらなる充実を図りたい。(安間会長)
- ・ボランティア紹介の回覧を見て、音楽会前に子供たちに指導をしてくださった方がいた。とても楽しかった、また呼んで欲しいと言っていた。この地域には協力的な方が多い。来年度も積極的にボランティアの募集を行いたいと思う。(神村委員)

##### ② 追加評価項目について

- ・学校教育目標の「にこ・きら・ぐん」や、キャリア教育の目指す子供の姿「と・み・つ・か」の周知や発信の方法について、どのようにするのが良いのか話し合いたい。(安間会長)
  - さくら連絡網で周知するというのが良いと思う。(西村委員)
  - ホームページ内に学校運営教育方針やいじめ防止のための基本方針などの詳しい記載があるという事を知らない方が多い。ホームページに掲載したものを確認して欲しい場合は、さくら連絡網で連絡するのが良いと思う。(吉川委員)
  - 子供が主体の学校のインスタグラムを立ち上げるのはどうか。子供たちが写真を撮り、文章を書いて掲載すると、興味を持って見てくださる方が増えるのではないかと。(高橋委員)
  - 子供主体の発信という点では、新しい取り組みになると考えるが、まずは、児童の情報モラルについて計画的に指導を進める必要がある。他校や他都市の様々な取り組みについて情報収集をし、適切な方法を判断していきたい。(学校)
- 来年の自己評価項目に、「周知や発信の方法はどうだったか。」「コミスク、地域、PTAの連携がとれていたか」の2点を追加することとなった。

## 11 その他連絡事項等

- (1) 通学路整備要望進捗状況
- (2) 夢育やらまいか(CS加算分)事業報告
- (3) 令和5年度学校運営協議会の委員の交代について
- (4) 令和5年度学校運営協議会 開催計画(案)

第1回 令和5年5月19日(金) 第2回 令和5年9月22日(金)  
第3回 令和5年12月1日(金) 第4回 令和6年2月9日(金)  
いずれも13:30~15:30(案) 富塚西小学校会議室にて